

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 20 日 更新

事務事業名		市債利子管理事務				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	自治の健康			所属部	会計	課長名	山田 清
	施 策	3	財政の健全化			所属課	会計課	担当者名	田嶋 勝
	施策の柱	13	財政事務の適正な執行			所属班	会計班	(内線)	1005
予算科目		会計一般	款 12	項 1	目 2	事業連番 11532	根拠法令 地方自治法第235条の3 合志市会計規則第54条		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地方自治法第235条の3及び合志市会計規則第54条に基づき、歳出予算内の支出をするため、一時借入金の借り入れを行った。
【業務の流れ】	①一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴取 ②借入先の決定及び借入 ③元利償還を遅滞なく行う。
【主な予算費目】	利子償還金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 一時借入金の借り入れおよび利子償還を行った。 借入回数 1回 借入額 2,000,000,000円 借入期間 90日間(2/28～5/27) 利率 0.100% 【基準に達しなかった理由】年度末の資金不足に対応する借入金額を予算で定める最高額 30億円から20億円に抑えることができたこと及び競争により低い利率となり、利子償還額が減となったため。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴取 借入先の決定及び借入(予定額 3,000,000,000円) 利子償還	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 一時借入手続き回数		回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
歳出予算内の支出		→ ア 借入金額	千円
		→ イ 利子償還金	千円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
歳出予算内の支出を円滑に行う。		→ ア	
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
歳出予算内の支出を円滑に行うことが目標であり、資金不足の日数を成果指標にすることで、その数値が低いほど目標を達成していることになる。			全体計画
			～ 年度
			0

(2)各指標・総事業費 の推移			単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	回	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	イ										
② 対象指標	ア	千円	3,000,000	2,000,000	3,000,000	2,000,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	イ	千円	575	493	1,519	493	1,519	1,013	1,013	1,013	1,013
③ 成果指標	ア										
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	576	493	1,519	493	1,519	1,013	1,013	1,013
	(A) 事業費計	千円	576	493	1,519	493	1,519	1,013	1,013	1,013	1,013
		(A)のうち指定経費	千円	576	0	1,519	493	1,519	1,013	1,013	1,013
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2
	人件 費	延べ業務時間	時間	400	200	400	200	400	400	400	400
		(B)人件費計	千円	1,564	761	1,593	728	1,593	1,593	1,593	1,593
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,140	1,254	3,112	1,221	3,112	2,606	2,606	2,606

事務事業名	市債利子管理事務	所属部	会計	所属課	会計課
-------	----------	-----	----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 借入回数は、一般会計において20億円を1回行なった。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 一時借入れは2月で1回の見込み。借入額はその時期の支出状況に応じて、10億円～30億円の範囲内で借入予定。	☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 年度末は資金不足が必ず発生するため。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 事業費は利子の償還額であることから、資金を借入れ先は競争入札を行ない最低利率の金融機関から借入を行っている。融資利率は景気経済に左右されるため、融資に対する利率の把握は難しいが、借入先の利率が前年度比で低ければ、削減となる。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低の業務時間のため、削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 現在、市の指定金融機関・収納代理金融機関から貸付金利の競争見積り入札を行っている。借入先の決定は最低利率の金融機関であり、公平である。引き続き、競争入札により決定する。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 一時借入金の利子償還であることから、他への移行はできない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

資金の状況により令和5年度は1回借入を行ない、償還の時期を5月にすることで償還がスムーズに行なえた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								